



静岡県内勤労者の仕事と生活意識調査(第19回)

【1000人を超える静岡県内勤労者から回答】

- 調査時期／2025年5月 ●回答者総数／1161名(男587名、女574名) ●調査方法／インターネット調査
- 静岡県内在住の勤労者約1000人を対象としたWEB調査。2016年5月の初回以来、年2回定期的に実施。
- 2025年5月の今回は第19回目の調査となった。

■性別

男性	女性
587	574
50.6%	49.4%

■年齢

20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
74	204	303	408	172
6.4%	17.6%	26.1%	35.1%	14.8%

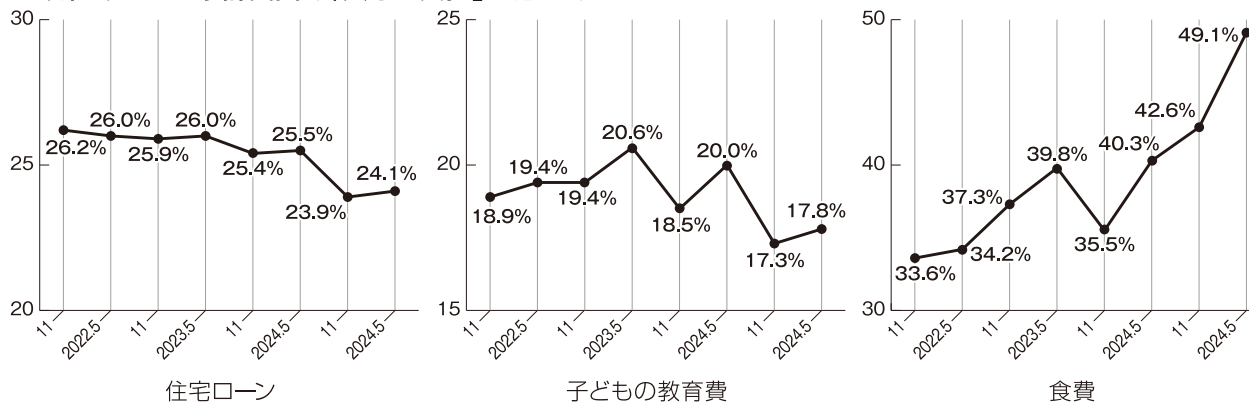
■雇用形態

正規社員	非正規社員
731	430
63.0%	37.0%

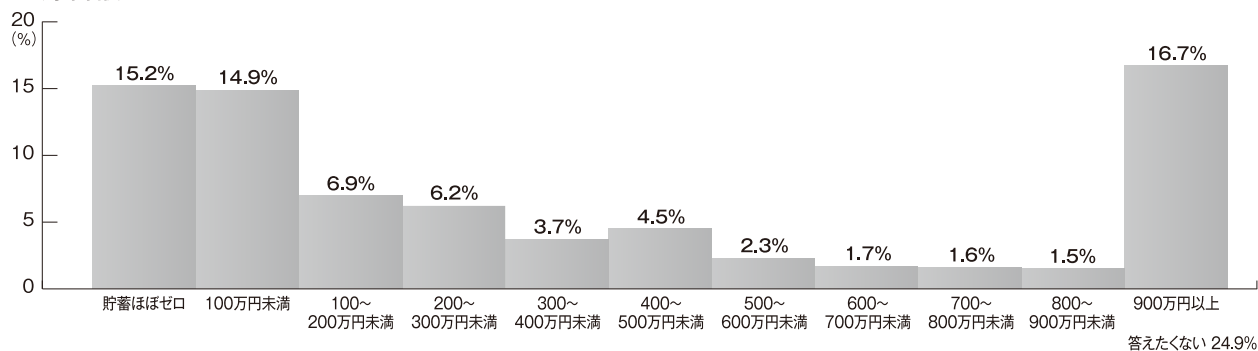
■あなたが現在思う「将来の不安」としてあてはまるもの(複数回答／3つまで)／年代別

	仕事 (自分、配偶者)	子どもの 将来	家族の将来	自分の結婚	住宅	ローン返済 (住宅・奨学金・ その他)	親や配偶者の 介護	老後の生活	健康 (自分、家族等)	その他	特になし	総計
全体	281 24.2%	247 21.3%	168 14.5%	60 5.2%	91 7.8%	169 14.6%	342 29.5%	657 56.6%	531 45.7%	10 0.9%	85 7.3%	2641 227.5%
20歳代	21 28.4%	11 14.9%	9 12.2%	18 24.3%	6 8.1%	16 21.6%	12 16.2%	23 31.1%	27 36.5%	0 0.0%	13 17.6%	156 210.9%
30歳代	57 27.9%	53 26.0%	36 17.6%	24 11.8%	21 10.3%	35 17.2%	48 23.5%	92 45.1%	73 35.8%	1 0.5%	17 8.3%	457 224.0%
40歳代	70 23.1%	95 31.4%	48 15.8%	13 4.3%	26 8.6%	50 16.5%	111 36.6%	154 50.8%	127 41.9%	3 1.0%	18 5.9%	715 235.9%
50歳代	99 24.3%	66 16.2%	57 14.0%	5 1.2%	26 6.4%	55 13.5%	128 31.4%	272 66.7%	204 50.0%	3 0.7%	25 6.1%	940 230.5%
60歳以上	34 19.8%	22 12.8%	18 10.5%	0 0.0%	12 7.0%	13 7.6%	43 25.0%	116 67.4%	100 58.1%	3 1.7%	12 7.0%	373 216.9%

■現在あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの(複数回答・一部抜粋版)



■貯蓄額



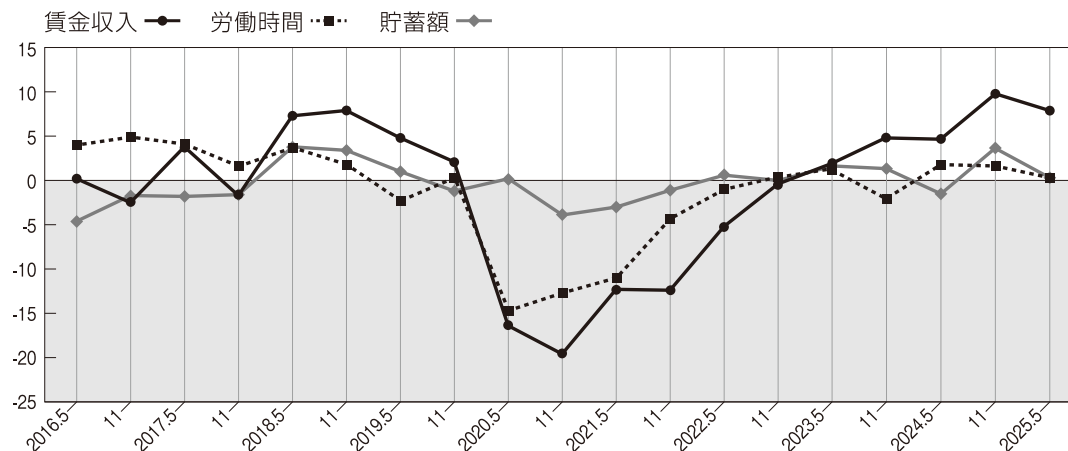
■勤労者DI-Diffusion Index 選択比率の差から動向を把握するための指標

「賃金収入」「貯蓄額」：1年前と比べて「増えた」「変わらない」「減った」

「労働時間」：1年前と比べて「長くなった」「変わらない」「短くなった」

「暮らし」(現在)：「余裕がある」「普通」「厳しい」

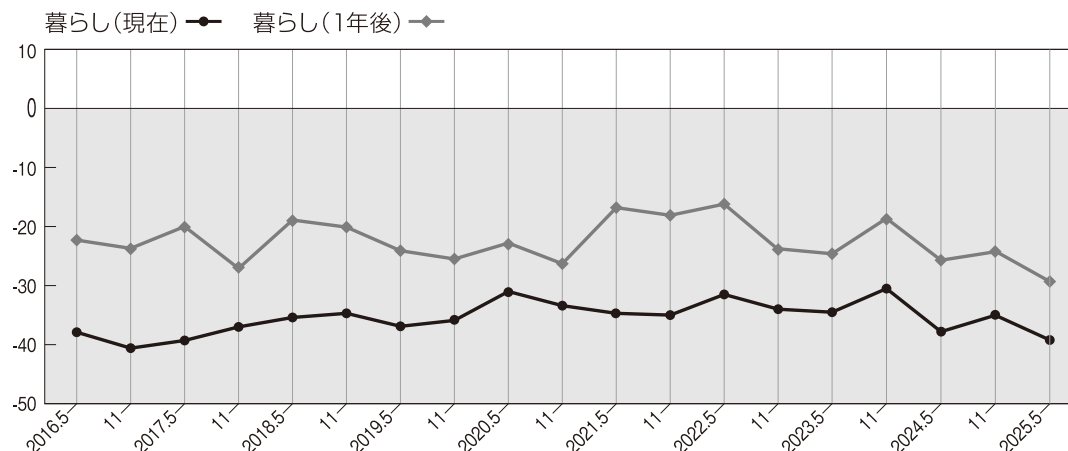
「暮らし」(1年後)：「ゆとりがでる」「変わらない」「苦しくなる」「わからない」



★注目ポイント

前回(2024.11)から 今回(2025.5)DI値の変化

●賃金収入 +9.7→+7.8(△1.9) ●労働時間 +1.6→+0.3(△1.3) ●貯蓄額 +3.5→+0.3(△3.2)



★注目ポイント

前回(2024.11)から 今回(2025.5)DI値の変化

●暮らし(現在) △35.0→△39.2(△4.2) ●暮らし(1年後) △24.2→△29.3(△5.1)

今回調査の注目ポイント

- DI値 賃金収入、貯蓄は下降、「暮らし」は「現在」「1年後」ともに下降
DI値の推移をみると、賃金収入は前回調査(2024年11月)と比べ減少(△1.9)、貯蓄額も△3.2と減少した。
「暮らし」(現在)は前回調査から△4.2、「暮らし」(1年後)は△5.1となり、「賃金収入」「貯蓄」「暮らし」(現在・1年後)はすべて前回調査から減少、悪化という結果となった。
- 家計支出における「食費」の負担感がさらに高まる
「現在、あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの」についての質問で、「食費」と回答する割合は1年前の調査(2024年5月)で40.3%となり、初めて40%を超えたが、前回の42.6%から今回は49.1%へとさらに増加し、1年前の調査からは8.8ポイントの上昇となった。2022年以降の食料品価格の値上げの影響が長期化していると考えられる。
- 現在思う「将来の不安」～「老後の生活」56.6%で最多
あなたが現在思う「将来の不安」について、全体では「老後の生活」が56.6%で最多であり、調査開始以来常に1位をキープしている。すべての年代で「老後の生活」「健康」が上位1・2番目であるが、「3番目の不安」は20歳代・30歳代では「仕事」(20歳代・28.4%、30歳代・27.9%)、40歳代・50歳代では「介護」(40歳代・36.6%、50歳代・31.4%)となっている。